

DACS-9600 デジタル入出力デモサンプルプログラム解説

DACS-9600 デジタル入出力デモサンプルプログラムは、マウス操作にて、任意のデジタル出力bitをON/OFFすることができます。またデジタル入力をリアルタイムで自動表示します。同シリーズの基板またはユニットを購入いただいた直後で、ユーザサイドのソフトウェアを準備されていない状態での動作試験、あるいは接続したシステムの動作確認に使用していただくためのサンプルプログラムです。ソースプログラムも添付していますので、アプリケーション作成のサンプルプログラムとしてご利用ください。

ダウンロードにてご提供している フォルダ dacs9600_DIO¥d96demo
 デモプログラム ソースプログラム (C++) D96DEMO.CPP
 実行プログラム D96DEMO.exe

このプログラムの動作には、
 デバイスドライバ（複合版またはダイレクト版）のインストールが必要です。

デジタル出力の操作 デジタル入力の表示 起動方法	bit位置をマウス左クリックにて ON/OFF 切換え リアルタイムに自動表示。 D96DEMO.exe を適当なホルダーにコピーし、 マウスにてダブルクリックで起動
--------------------------------	--

送信データおよび受信データ表示の末尾1文字は、データ識別番号です。0~Fの16進数にて、データ送信ごとに変更しています。受信データのデータ識別番号は、送信データの番号をそのまま返しています。!キーを押すと、データ転送間隔が1秒と遅くなりますので、この様子がわかります。下図は子機を1台増設して、2台の子機を接続した例です。

端子台
2590の
端子番号

数字は
bit番号

デジタル出力
マウス
左クリック
にてON/OFF
切換え

デジタル入力
ON/OFFを
自動表示

ID番号は
基板上的
DIP
スイッチ
設定を表示

正常動作中
「正常」
通信中断時
「中断」

出力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
 入力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0